

氏名	越智 幸一	部署	社会福祉子ども学科	職名	教授
研究分野	発達心理学				
学位	修士(人間・環境学)				
学歴	1993年京都大学 教育学部 教育心理学科、95年京都大学大学院 人間・環境学研究科 人間・環境学専攻修士課程、98年京都大学大学院 人間・環境学研究科 人間・環境学専攻博士課程				
経歴	1998年旭川大学女子短期大学部助教授、2007年西オーストラリア大学心理学科客員研究員、08年旭川大学女子短期大学部准教授、09年旭川大学女子短期大学部教授、13年鎌倉女子大学短期大学部教授、18年埼玉県立大学保健医療福祉学部教授				
所属学会(役職)	日本発達心理学会、日本教育心理学会、日本特殊教育学会、日本発達障害学会、日本保育学会				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	保育者養成のための初年次教育ワークブック	共著	一藝社;P.142	大沢裕、 越智幸一 、 中島朋紀(担当:編著)	2018.2
2					
3					
(2) 論文					
1	リーダーシップを発揮した保育組織活性化に関する研究	共著	鎌倉女子大学学術研究所報;18;P.45-54	越智幸一 、佐藤康富、 臺有桂、関川満美	2018.3
2					
3					
(3) 学会発表					
1	保育組織の活性化に関する研究ーキャリアパス導入の効果ー	共著	日本保育学会第70回大会、 倉敷市	○ 越智幸一 、佐藤康富、 臺有桂、関川満美、 角谷正雄、角谷教恵、 瀬下香奈子	2017.5
2					
3					
(4) その他					
1	該当なし				
2					
3					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	鎌倉女子大学学術研究所研究助成金	リーダーシップを発揮した保育組織活性化に関する研究(研究代表者)			2016.4～2018.3
2					
3					
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	発達心理学	2017.4～2017.9	パワーポイントのスライドとビデオ資料とを有機的に組み合わせ、学生にとって子どもの発達を理解しやすい工夫をした。		
2	教育相談	2017.10～2018.3	さまざまな事例を用い、学生に考察してもらうようにし、より実践的な知識を身につけてもらえるよう工夫をした。		
3	心理学	2017.4～2017.9	授業の最初にプレテストを実施したり、授業の最後に確認テストをするなど、小テストを活用しながら、学生の理解度を深める工夫をした。		
(2) 演習					
1	保育の心理学演習	2017.4～2017.9	子ども役、先生役、保護者役などを設定し、学生にロールプレイをしてもらうことにより、知識や技能を実際に保育現場で生かせるよう工夫した。		

2	保育・教職実践演習	2017.10～2018.3	さまざまな事例についてグループワークの形式で取り組んでもらうことにより、保育現場で求められる知識やコミュニケーション能力の向上を目指した。	
3				
(3) 実習				
1	該当なし			
2				
3				
(4) 論文指導				
1	該当なし			
2				
3				
(5) その他				
1	該当なし			
2				
3				
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	こどもと保護者の心理学入門研修	横浜市こども青少年局	こどもと保護者の心理学入門	2017.8
2				
3				
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	該当なし			
2				
3				
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
2				
3				
5. 学内運営(委員会委員)				
1	該当なし			
2				
3				
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			